



Enterprise SSO solution that works with leading web portal servers and also with HSMs (Hardware Security Modules) for enhanced security.

AccessMatrix™ UniversalSign-On (USO)はソースコードを一切変更せずに、複数のアプリケーションに対し、シングルサインオンを容易に実現することのできるセキュリティ・ソリューションです。今日、多くの企業においてユーザはあまりに多くのIDと、頻繁に変更され増え続けるパスワードを覚えなければなりません。USOの適用によって、管理コストを削減しつつ、スタッフの生産性を改善し、顧客満足度を向上させることができます。

USOはどう動くのか？

USOソリューションはAccessMatrixセキュリティサーバ基盤レイヤ上に構築されています。これによりユーザは、管理や監査、アプリケーションレベルでの承認、拡張されたセキュリティ機能などによりメリットを得ることができます。また、USOの自動インストール、自動設定、セルフサービス、非常に容易な導入といった特長により、導入やメンテナンスにかかわる作業を最小限に抑えることができます。

USOコンポーネント

USOトレーナー

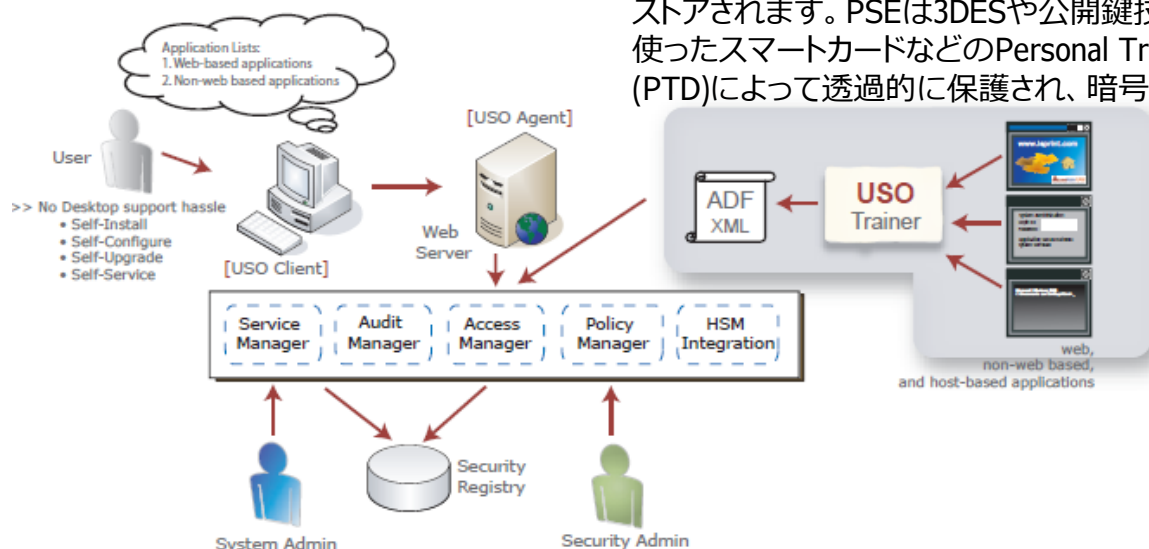
USOトレーナーはアプリケーション毎のログイン情報やパスワード変更シーケンスを学習する機能です。トレーナーユーティリティは、画面の識別属性とセキュリティ関連のフィールドマッピングを記録し、ログイン時に適切な資格証明をアプリケーションに渡すことができる機能を有しています。これはログイン動作とパスワード変更に対するアプリケーションレベルのセキュリティポリシーを含んでいます。トレーナーは、キャプチャーしたログインやパスワード変更シーケンスをテストする機能を有しています。トレーナーによって学習された情報はアプリケーション定義ファイルとしてエクスポートされます。管理者はアプリケーション定義情報を、AccessMatrixセキュリティサーバへインポートすることができます。

USOエージェント

USOエージェントはオンラインシングルサインモードの時、USOクライアントとセキュリティサーバ間のゲートウェイとして機能します。セキュリティサーバに対しセキュアな接続を維持します。認証が成功すると、ユーザがアクセス可能なアプリケーションリストをUSOクライアントに送信します。

USOクライアント

USOクライアントはユーザが最初にUSOにログインした際に、ユーザデスクトップ上に自動的にダウンロードされるソフトウェアコンポーネントです。USOクライアントはログイン画面を検知する為に、ユーザのデスクトップをモニタリングし、ユーザの代わりに自動的にターゲットアプリケーションにログインします。ユーザのログイン情報はオフラインアクセスのために、Personal Security Environment (PSE)にストアされます。PSEは3DESや公開鍵技術などを使ったスマートカードなどのPersonal Trust Device (PTD)によって透過的に保護され、暗号化されます。



Features and Benefits of AccessMatrix™ Universal Sign-On (USO)

USOはAccessMatrixフレームワーク上に構築されます。USOはAccessMatrixの特筆すべき特長を引き継いおり、
 加えてUSO独自の機能も持ち合わせています。USOの特長は以下の通りです。

導入容易性

シングルサインオン実現の為に、アプリケーションへのログイン及びパスワードスクリーンを学習します。アプリケーションソースコードの変更は必要ありません。このアプローチはUSOシステムに対するアプリケーション統合を大いに簡略化するものです。

金融機関グレードへと拡張されたセキュリティ

暗号キーは主要なHSMベンダーによるハードウェアセキュリティモジュールによって保護されます。

既存ポータルとの共存

組織内の既存ポータルとUSOは容易に統合し、セキュアにすることができます。

デスクトップへの自動クライアント配布

システム中断なしに、ユーザのデスクトップに素早く導入配置されます。

強力な認証

USOは主要なセキュリティトークンベンダーによる幅広い2要素認証デバイスをサポートします。

容易な管理

USOクライアントの最新バージョンは自動的にユーザワークステーションにダウンロードされます。

使い勝手の良さ

USOは、いつものようにユーザが最初にそれぞれのアプリケーションに一度だけログインするだけで、各USOに対して、ユーザIDとパスワード提供する仕組みです。

弱点のないリンク

USOコンポーネント間の全ての通信はSSLを使ってセキュアに保護されます。

柔軟性の高いパスワード変更機能

自動パスワード変更オプションにより、管理者はアプリケーション毎に定義されたポリシーに基づいて新しいパスワードを生成することができます。手動パスワード変更プロンプトはユーザに対し、新しいパスワードを促し、例えセキュリティサーバが使用不可な場合でもアプリケーションへのシングルサインオンを可能にします。セキュリティデータベース内のパスワードがターゲットアプリケーションと同期がとれなくなった場合、USOシステムはユーザがアプリケーションパスワードのリセットを実行できるよう構成することができます。

モバイル性

ユーザデスクトップ上のUSOのPSE(Personal Security Environment)やハードウェアトークンはセキュリティ資格証明やアプリケーション属性をストアするように構成することができます。この独自の機能によって、たとえAccessMatrixセキュリティサーバに接続できなくても、ユーザに対しUSOシングルサインオンファシリティへアクセスすることができるのです。

スムーズなセキュリティアップグレード

より強力な統合ときめ細かいアクセスコントロールの実現のために、USOとUAMを使用する場合、USOのAccessMatrixセキュリティサーバをUniversal Access Management (UAM) AccessMatrixセキュリティサーバへアップグレードすることができます。

ABOUT ACCESSMATRIX

AccessMatrix™は、特許取得済みの階層モデルテクノロジー (PCT/SG02/00027)をベースに作られています。USOが構築されている共通フレームワークです。USOはAccessMatrixセキュリティサーバの機能を引き継いでおり、更に独自の機能を持っています。AccessMatrixはwebサーバやアプリケーションサーバといった異なるイーコマースやエンタープライズリソースに対するセキュアなアクセスを実現する為に、集中型の認証、承認、オーディットサービスを提供します。企業全体に、容易且つ効率的にアプリケーションの認可管理、ユーザ特権、セキュリティポリシーを管理できるように、管理者に対し集中型で且つ包括的なポリシー管理サービスを提供します。AccessMatrixフレームワークの主な利点を以下に記します。

シンプルなユーザ管理

AccessMatrixの階層モデルは、セキュリティ管理者を異なった組織レベルで指名することを可能にします。セキュリティ管理者の管理者権限はセキュリティの向上やセキュリティ管理の分業化、高レベルな説明責任を目的として定義されます。このフレームワークによって、顧客やビジネスパートナーのような外部組織が、独自のセキュリティ管理者によってIDやパスワード、ユーザ権限を管理できるようになります。LDAPやMicrosoft Active Directoryのような既存のユーザレジストリとの統合によってAccessMatrixはユーザ管理を更に効率的なものにします。

企業規模のセキュリティポリシー拡張の簡素化

企業規模のセキュリティポリシーは企業の既存組織階層と同等であるセグメント化された階層型のAccessMatrixによって定義、管理され、企業の責任者によってコントロールされ、実施されます。

グローバルバンクの機能を組み込んだ“ベストセキュリティプラクティス”

AccessMatrixは、デュアルコントロール、最小権限、職務分離の原則をサポートします。これらのセキュリティ原則は金融機関や他の業種において重要です。きめ細かい管理権限は組織内での職務権限に応じたセキュリティ管理者に対して割り当てられます。メーカーチェッカー機能やデュアルコントロール機能は、ある管理者による更新処理が完了する前に、他の管理者によってチェック・承認されなければならないという原則を確実なものとする為に使用されます。加えてAccessMatrixは権限が重複しないようにアプリケーション内で同じユーザが複数の役割に割り当てられていないかをチェックします。アプリケーション内のロールについてはアプリケーション固有のものです。

JAVAによる投資保護、拡張性、プラットフォーム非依存

AccessMatrixセキュリティサーバはjavaテクノロジーを使用して構築されているため、Javaランタイム環境をサポートするあらゆるプラットフォームにも適用することができます。